

資料－7 西三河及び東三河地域の地盤沈下調査結果

1 西三河地域

平成24年は水準測量を実施していない。

西三河地域の平成23年の観測結果は、前回の調査が平成21年のため、2年間（平成21年9月1日～平成23年9月1日）の変動状況である。有効水準点68点の内、沈下点は33点でその割合は約49%となり、平成21年（約25%）と比較して増加した。また、1年間に換算して1cm以上沈下した水準点はなく、沈下域はなかった。

沈下点数の推移は資料表7-1、資料図7-1、年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移（昭和50年～平成23年）は資料表7-2、主要な水準点の累積変動状況は資料図7-2のとおりである。西三河地域では、平成9年以降1cm以上の沈下点は観測されておらず、沈下域は昭和60年以降、平成2年を除いて生じていない。

年間沈下量の大きい水準点は、資料表7-3のとおり碧南市油湊町二丁目に設置されている水準点「A393」であり、沈下量は0.26cmであった。

また、最近6年間の累積沈下量の大きい水準点を資料表7-4に示す。最大沈下地点は西尾市吉良町吉田万田の水準点「A358」で、2.75cm沈下している。

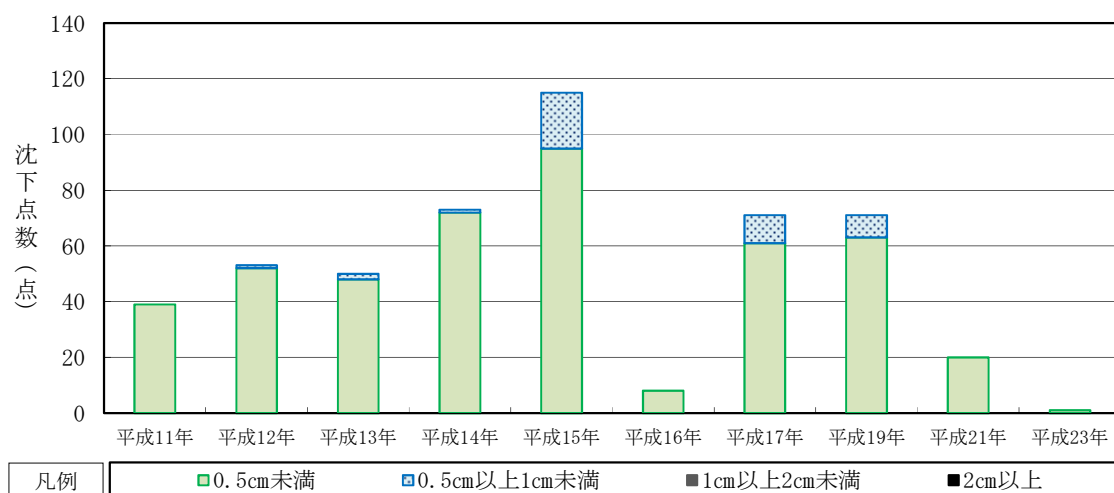
調査開始から平成23年までの累積沈下量が大きい水準点は、資料表7-5、資料図7-2のとおり、西尾市吉良町白浜新田北切に設置されている水準点「A200」であり、累積沈下量は44cmとなっている。

なお、西三河地域における累積沈下量のコンター図を資料図7-3に示している。

資料表 7-1 沈下を示した水準点の数（西三河地域）

単位：点

水準点		観測年									
		平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年
有効水準点		168	169	176	176	141	101	87	87	81	68
沈下点数	0.5cm未満	39	52	48	72	95	8	61	63	20	33
	0.5cm以上 1cm未満	0	1	2	1	20	0	10	8	0	0
	1cm以上 2cm未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2cm以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	39	53	50	73	115	8	71	71	20	33



資料図 7-1 沈下を示した水準点の数（西三河地域）

資料表 7-2 年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移

(昭和 50 年～平成 23 年、西三河地域)

単位：km²

観測年 沈下量	昭和 50年	昭和 51年	昭和 52年	昭和 53年	昭和 54年	昭和 55年	昭和 56年	昭和 57年	昭和 58年	昭和 59年	昭和 60年	昭和 61年	昭和 62年	昭和 63年	平成 元年	平成 2年	平成 3年	平成 4年	平成 5年	平成 6年
1 cm 以上	0	約 3	約 4	—	約 8	約 20	約 64	約 9	約 16	約 16	約 0	約 0	約 0	約 0	約 0	約 4	約 0	約 0	約 0	約 0
2 cm 以上			約 0	—	約 0	約 0	約 10	約 0	約 0	約 0						約 0				
3 cm 以上				—		約 0	約 0													
4 cm 以上				—																
最大 cm	0.7	1.6	2.3	—	1.2	3.1	3.5	2.7	2.7	2.4	1.1	1.5	1.7	1.35	1.69	2.20	1.11	0.67	1.41	0.92

観測年 沈下量	平成 7年	平成 8年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年
1 cm 以上	約 0	約 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	—	0	—	0
2 cm 以上												—		—		—	
3 cm 以上												—		—		—	
4 cm 以上												—		—		—	
最大 cm	1.01	1.27	0.93	0.75	0.36	0.55	0.64	0.52	0.95	0.39	0.91	—	0.83	—	0.37	—	0.26

注 1) 沈下域の面積で「約0」とは、沈下した水準点は存在するものの、沈下域の形成には至らなかったことを示している。

また、「0」とは、沈下した水準点も存在しないことを示している。

注 2) 昭和53年、平成18年、平成20年、平成22年は測量を実施していない。昭和54年、平成19年、平成21年、平成23年の最大cmは、1年間に換算した変動量を示す。

資料表 7-3 年間沈下量ワースト5 (西三河地域)

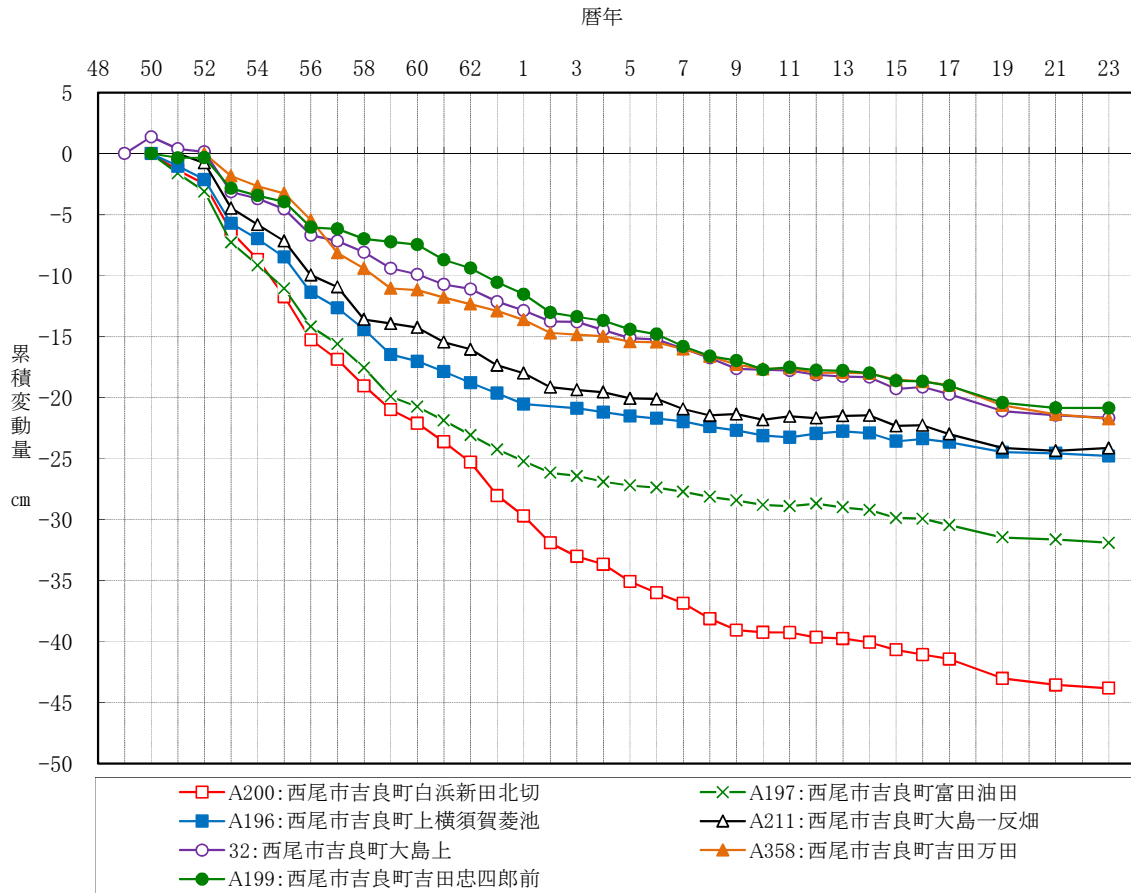
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A 3 9 3	碧南市油渕町二丁目	0.26
2	A 1 2 0	安城市根崎町南荒子	0.25
3	A 1 3 0	高浜市田戸町三丁目	0.22
4	A 2 1 2	西尾市下永良町西後落	0.21
5	A 2 1 3	西尾市駒場町荒子	0.20

資料表 7-4 最近6年間の累積沈下量ワースト5 (平成17年9月～平成23年9月、西三河地域)

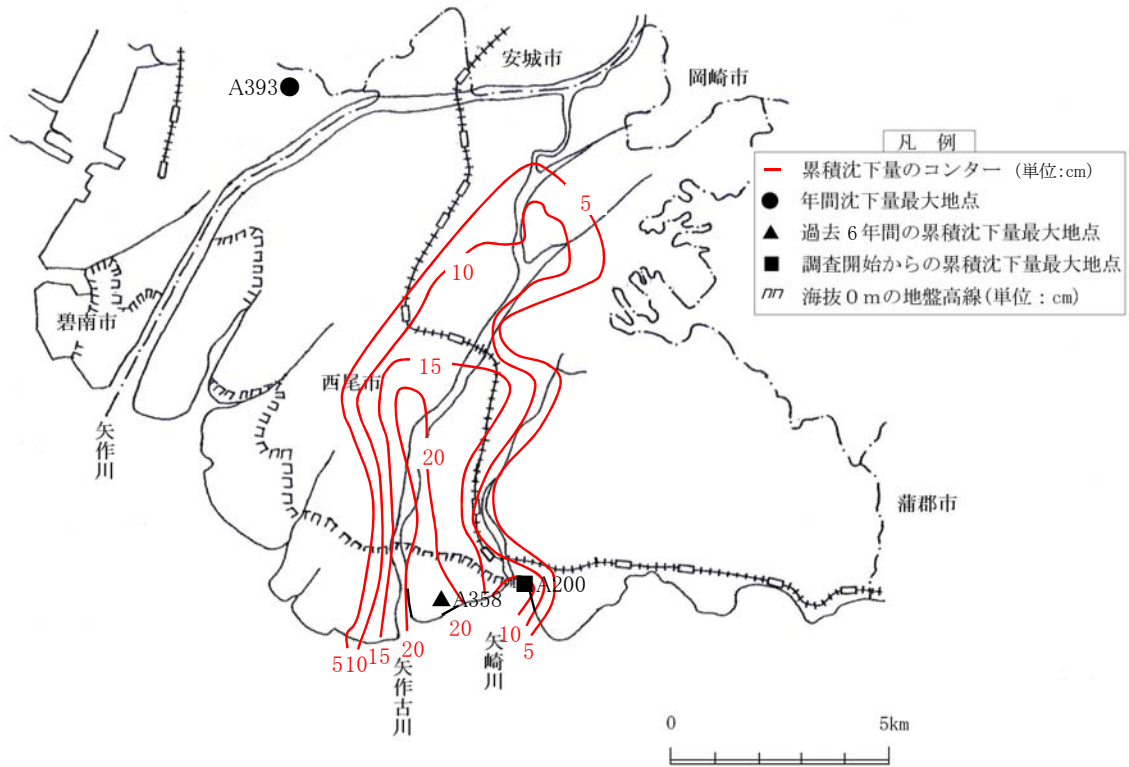
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A 3 5 8	西尾市吉良町吉田万田	2.75
2	A 2 0 0	西尾市吉良町白浜新田北切	2.38
3	3 2	西尾市吉良町大島上	1.95
4	A 1 9 9	西尾市吉良町吉田忠四郎前	1.83
5	A 1 9 7	西尾市吉良町富田油田	1.45

資料表 7-5 累積沈下量ワースト5 (調査開始年～平成23年9月、西三河地域)

	水準点番号	所在地	沈下量 (cm)	標高 T.P. (m)	調査 開始年
1	A 2 0 0	西尾市吉良町白浜新田北切	44	+ 1.0314	昭和50年
2	A 1 9 7	西尾市吉良町富田油田	32	+ 1.2502	昭和50年
3	A 1 9 6	西尾市吉良町上横須賀菱池	25	+ 2.2455	昭和50年
4	A 2 1 1	西尾市吉良町大島一反畑	24	+ 0.0793	昭和51年
5	A 3 5 8	西尾市吉良町吉田万田	22	+ 1.3718	昭和52年



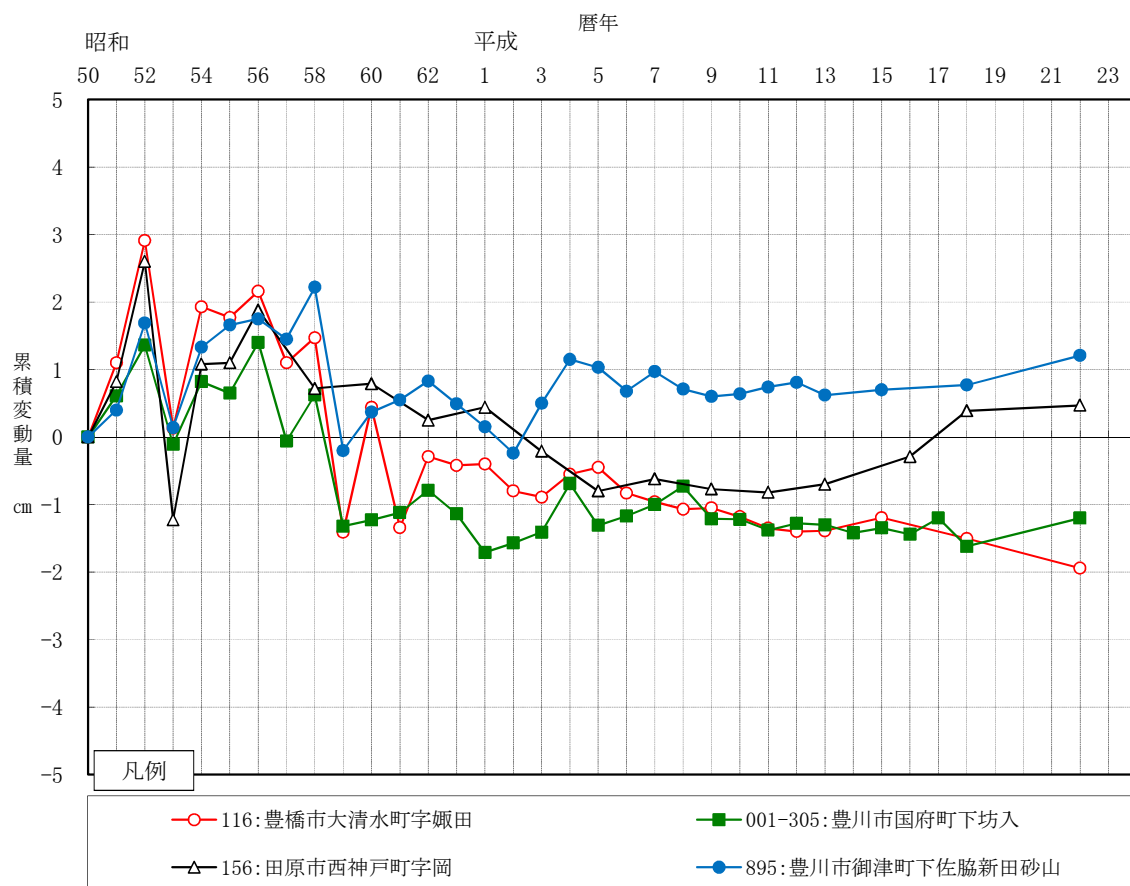
資料図 7-2 主要な水準点の累積変動状況（西三河地域）



資料図 7-3 累積沈下量のコンター図（昭和50年～平成23年、西三河地域）

2 東三河地域

平成 24 年には水準測量を実施していない。最新の測量は平成 22 年であり、平成 22 年までの主要な水準点の累積変動状況は資料図 7-4 のとおりである。



資料図 7-4 主要な水準点の累積変動状況 (東三河地域)